

2008 年度事業報告概要

有限責任中間法人学術著作権協会（以下 JAACC）は、2002 年 2 月 12 日著作権等管理事業者として文化庁に登録し、主として学術団体ならびに双務協定による海外諸国の知的財産の管理・運営、著作権処理事業を推進して参りました。

2008 年度においても、権利者、利用者双方の立場に立ち、著作権に関する権利・義務に関する啓蒙活動を推進すると共に、学術論文等の円滑、かつ広範な活用、海外複製権機構（RRO）との双務協定による海外諸国との著作権処理とその円滑化など著作権の集中処理事業に積極的に対処する等、事業計画に即し経常事業並びに重点事業を実施致しました。

2008 年度末における JAACC の社員は、社団法人日本工学会、日本歯科医学会、日本農学会、社団法人日本薬学会の 4 団体であります。

1. 2008 年度末における複写権等委託国内・外団体、管理著作物等は、別表(ホームページ掲載)の通りであります。

2. 複写使用料の受け入れと権利者への分配を実施致しました。

複写使用料受け入れ額と、分配金額は、収支決算書記載の通りであります。

3. 学術情報普及事業の展開と権利受託著作物集中処理事業の強化を目的とした JAACC ホームページの大規模改修を行い、内容の一新を図りました。

4. 国内学協会、公的団体からの権利委託事業の強化とその著作物の普及、権利処理事業の強化を目的と致しまして講演会、説明会の開催、各種シンポジウム等の開催及び開催協力を致して参りました。主なものと致しましては、

1) 2008 年度第 1 回、第 2 回著作権講演会・海外著作物複写利用許諾契約に関する説明会、第 3 回、第 4 回著作権講演会(第 1 回、第 2 回著作権基礎セミナー)「著作権制度の概要－初めて学ぶ人のために－」の開催。

2) オープン・アクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト参加大学との懇談会の開催。

3) 日本の機関リポジトリとそのテーマ 2008 デジタル時代の学術情報流通と著作権：第 10 回図書館総合展 第 4 回デジタルリポジトリ:Digital Repository Federation(DRF)ワークショップへの参加。等であります。

5. 海外 RRO 著作物のオンラインによる管理と複写許諾システムの運用の改善と拡大を図りました。

6. IFRRO 活動の強化

JAACC は、2002 年準会員として加盟、著作権の擁護とその円滑な活用に関し、国際的な場面において、積極的な活動を展開致して参りました。

2008 年 The 37th Annual General Meeting of IFRRO 2008 において推薦を受け、正会員としての加盟を果たしました。

7. 組織運営に関する事項

事業体制並びに事務局運営の一層の強化、効率化を進めて参りました。

8. 監査法人による監査の実施と経理処理の適正化

経理処理は、役員による監督の下、事務局規定に則って随時税理士事務所による助言を受け実施すると共に、外部監査法人による会務監査を実施致しました。

9. 会議の開催

社員総会並びに理事会を開催致しました。